

すぎなみピト



interview

芸人・ごみ清掃員 滝沢秀一



ごみを減らそう！



プロフィール：滝沢秀一（たきざわ・しゅういち）昭和51年生まれ。杉並区在住。平成10年にお笑いコンビ「マシンガンズ」を西堀亮と結成。お笑い芸人として活動する傍ら、平成24年から民間のごみ清掃会社で清掃員の仕事を始める。「このゴミは収集できません」（白夜書房）、「ゴミ清掃員の日常」（講談社）など著書多数。令和2年10月には環境省の「サステナビリティ広報大使」に就任。SNSでの発信、執筆、講演などを通してごみ削減の啓発活動に尽力している。

ごみ清掃員の視点から、よりよい社会につながる問い掛けを。

ごみ清掃員になって初めて知ったごみ出しの実態

— 滝沢さんが担うごみ清掃員とは、どのようなお仕事ですか？

ごみ清掃の仕事には、清掃車の運転と、ごみを収集する作業があり、僕はごみの収集をしています。朝6時半に出社し、アルコールチェックをした後、8時から収集スタート。すべてのルートを終えて帰社するのが午後4時前後です。ごみ清掃の仕事って不思議なもので、すごく生活に密着しているのに、実態は意外と知らないものですね。僕も働く以前はまるで知らず、収集作業も清掃車が満杯になれば終わりだと思っていました。でも実際は満杯になった時点で清掃工場へ行き、空にしてまた収集へ向かう。それを何台もの清掃車が日々行うのですからすごい量です。ごみ清掃員になった当初、「こんなにごみがあるのか！」とがくぜんとなりました。

— ほかにごみ清掃員を始めて驚いたことはありますか？

なぜこんなものが出るのだろう？ と驚くような、謎めいたごみはたくさんあります。例えばバナナの皮はなくて中身だけとか、同じものだけが45ℓのごみ袋いっぱい詰まらされているとか。刃がむき出しの包丁がごみ袋に入っていたり、みそ汁がそのままごみ袋に捨てられていたりすることもあります。水分は結構厄介で、ごみは圧縮しながら清掃車に収めるので飛び散るんですよ。僕はこれを「ごみ汁」と呼ぶのですが、浴びると本当に臭いがとれません。また、水分は焼却時に余計なエネルギーを使うのでコストが増えます。もちろんそのコストは税金から賄われます。こういったことはあまり知られていないのではないのでしょうか。生ごみは水分を



多く含んでいるため、一回でもぎゅっと絞って出すことをおすすめします。

— ごみの出し方が、さまざまところに影響を与えているんですね。

僕もこの仕事をするまでは何も考えてなくて、捨てた瞬間に自分が何を捨てたか忘れていたし、ほとんどの人がそうだと思います。「どうせ誰かが収集する」という感覚でした。でも自身がその「誰か」になって初めて、ごみ出しについて考える大切さが身に染みしました。ほんの少しの配慮でいいのです。例えばジュースのペットボトルや食品の缶は、さっと洗うだけでもアリの来なくなるし、ハエの発生も抑えられる。包丁なら刃にガムテープを一枚巻くだけで危険度が全然違って来る。収集する「誰か」にとってどうなのか？ と、少しでも想像してもらえると清掃員はとても助かります。

コロナ禍で起きたごみ収集現場での変化

— 芸人でもある滝沢さん。その道を志したのはなぜだったのですか？

子どもの頃からお笑いが好きで、大学生の時に爆笑問題さんに憧れて芸人になると決めました。テレビや営業の仕事などで忙しい時もありましたが、いつも安定した収入があるわけではありません。仕事が減って貯金も尽きた時に子どもができ、出産費用を用意するの必要に迫られる中、年齢を問わず雇ってくれたのがごみ清掃会社でした。働き始めて不思議だったのが「この仕事って誰にも見られていない？」ということ。ほかの清掃員に話すと「滝沢君は人に見られる仕事をしてきたからそう感じるんだよ」と言われました。「俺たちは人目につかない仕事なんだ」とベテラン清掃員はよく冗談交じりに口にしていました。

— そんなごみ清掃の現場がコロナ禍で少し変化したとお聞きしています。

そうですね。緊急事態宣言が出て、ごみ収集も停止するのではないかと、清掃崩壊が起きるのではないかと…そんな不安の声が上がる中、収集がいつも通

り行われたためか、収集している最中に「ご苦労さまです」などと声を掛けていただくことが増えました。また、ごみ袋に手紙が貼ってあったり、マジックで「ありがとう」と書いてあったり、さまざまなかたちで感謝の言葉をいただいています。子どもたちが集積所のボックスを開けて待っていてくれたこともありました。そうした優しさは僕らにとって本当に励みになっていますし、とてもうれしいことです。

— コロナ禍でごみそのものにも変化はありましたか？

家で過ごす時間が増えたことが影響しているのでしょうか、とにかく収集してもしきれないほどごみの量が増えました。大掃除や模様替えをする人も多いうので、洋服や100円均一で買えるような収納用品が大量に出ている印象です。安く買った分、捨てることがあまり惜しくないのかもしれませんが。ごみと日々向き合っていると、「安く買ってすぐに捨てる」というサイクルが私たちの社会では当たり前になっているのかな？ という気がします。



大量生産・大量消費の社会を考えていきたい

— ごみ清掃員になり、ご自身が変わられた部分もありますか？

何かを買う時、「本当にこれを買いたいのか？」と問うようになりましてね。「ラストロング (Last long)」という言葉が好きで、直訳すれば「長持ち」ですが、「愛しているものなら命なくなるまで使う」という考え方もあるんです。「もったいない」もいい言葉ですが、捨ててしまうものに対して「もったいないね」と使うより、ラストロングはもっと前向きな感じがしていると思っています。安さだけで選ばず、愛着を持って長く使えるものを選んで購入するほうが、結果的に長持ちしてコストもよいですし、ごみの削減にもつながります。

— 多方面で活躍される中、清掃員も続けているのはなぜですか？

ごみ清掃の仕事がもはや「好き」の領域に入っているからでしょうね。あとは、ごみ清掃をしていると人間の「生きる喜び」のようなものが見えてきて、そこを感じていたい気持ちもあるからです。そして感じるだけでなく、感じたことを生かしてよりよい社会につなげていきたいと思うのです。大量生産・大量消費が果たしてどうなのか？ ということも、多くの人と考えていきたいから、そのためにはごみ清掃員の視点を持ち続けているからこそ問い掛けられるものがあると思うのです。

— ごみの問題は誰にとっても自分事であると考えする必要がありますね。

僕の目標はただ一つ、「日本のごみを減らすこと」です。日本のごみの最終処分場もいつか寿命を迎えます。ごみを減らすのは難しいことではなく、例えば可燃ごみはきちんと分別すれば減らすことができます。そして、ごみ削減で何よりもポイントになるのは「買う時に捨てることまで」考えること。僕自身は詰め替え用のエコパックがあればそちらを選ぶようにして、できるだけ捨てる時にごみが少なくなるものを買おうと心掛けています。ぜひ皆さんと一緒に、今後もごみ削減のために頑張っていきたいです。

スマートフォン用アプリ

「なみすけのごみ出し達人」をご利用ください！



ごみ・資源の分け方・出し方を品名と分別の両方から調べることができます。また、集積所の住所を設定することで、収集曜日のカレンダーが表示でき、ごみの種類ごとにごみ出し日を知らせるアラームを設定することもできます。スマートフォンの言語設定を行うことで、外国語（英語、中国語、韓国語・朝鮮語、ネパール語、ベトナム語、フィリピン語）に対応した内容が表示されます。ぜひご利用ください。

☎ 杉並清掃事務所管理係 ☎ 3392-7281

以下からダウンロードできます。



YouTubeで配信中!

紙面には掲載しきれなかった取材のこぼれ話も動画で紹介しています。

すぎなみピト MOVIE

すぎなみピト「滝沢秀一さん」のインタビューが動画でも楽しめます。右2次元コードからご覧いただけます。



杉並区公式チャンネル